

こんぴら温泉郷

この辺り一帯は江戸時代から参拝客で賑わう宿場町。ここでホテル経営をしていた近兼孝林が1997年に源泉を掘り当て、近隣の宿泊施設に提供したことから温泉街が形成される。現在「こんぴら温泉郷」は、金倉川河畔から金刀比羅宮参道周辺の16の施設からなる。泉質は、ナトリウム・カルシウム-塩化物温泉、含食塩重碳酸土類泉、単純寂放射能冷鉱泉と、施設によって異なり、神経痛や痛風など効能もさまざまなので、ぜひあなたにあった温泉を選んでお湯を楽しんでもらいたい。年に一度「こんぴら温泉郷まつり」も開催される。